

« 中原地区の石像群 »

1種類、5体の石像があります。



第6番
弘法大師坐像
道路沿いのお堂



第7番
弘法大師坐像
道路端

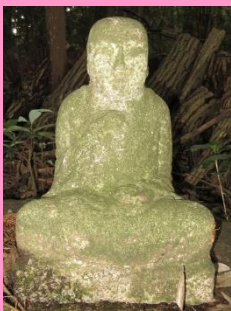
第8番&第9番
所在不明



第10番
弘法大師坐像
道路沿いのお堂



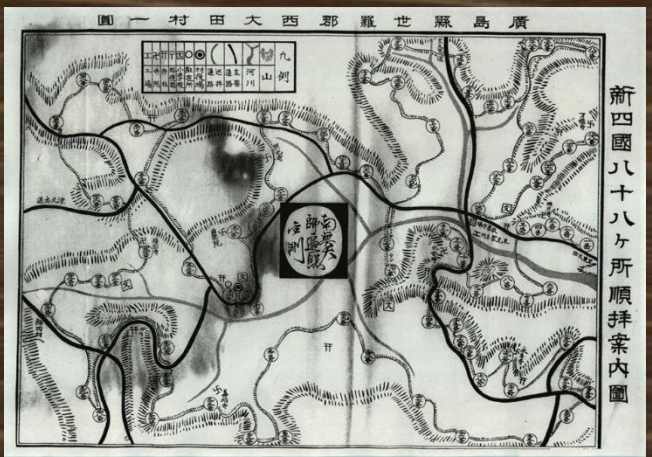
第11番
弘法大師坐像
住宅前の石の祠



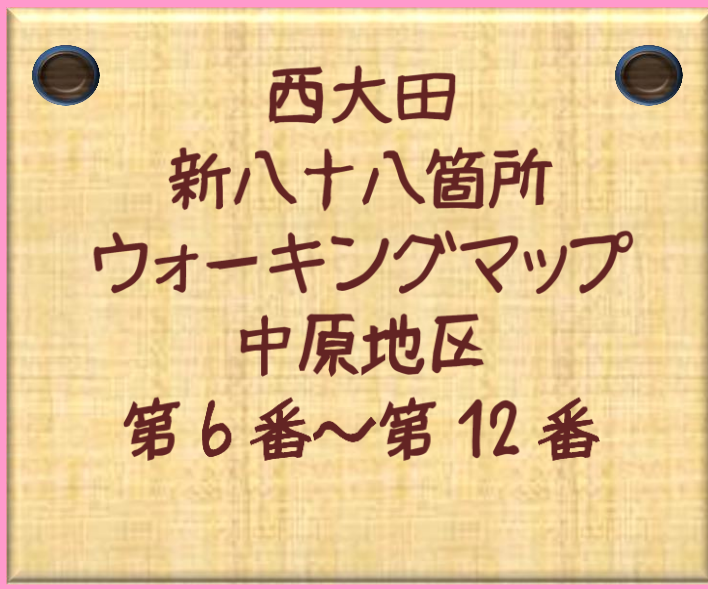
第12番
弘法大師坐像
住宅の裏山

「西大田村新四 國八十八ヶ所 順拝案内圖」

1929(昭和4)年,児玉
教全氏を中心に地
元名士や住民によ
り,西大田村の各所
に石像を安置した
当時の様子.案内図
は世羅郷土民俗資
料館所蔵.



平成31年度世羅町ふるさと夢基金(世羅町)の助成を受けて,
県立広島大学と西大田地区振興会連絡協議会の共同で作成しました。



「町天然記念物いかり山 玄武岩柱状節理」

中原公園の南側にある小高い山
に玄武岩が見られる.世羅台地
が約800万年前から1200万
年前ごろに火山活動が活発だった
時に形成されたもの.



「五輪塔」「〇〇城山」「菩提樹群生地」など五
輪塔周辺には多数の石像があり,龍王山では昔のろしを上げ
ていたとか,菩提樹はお寺の住職が外国から持ち帰った
とか...中世からの様々な歴史を感じることができる.